

令和3年度 第1回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時:令和3年8月10日(火) 午後3時～

場所:恵那市共同福祉会館 集会室

1. 開会
2. 自己紹介
3. 副市長あいさつ
4. 議事
(1) 総合計画の進行管理について
5. その他
6. 閉会
7. 会議公開・非公開・・・公開
8. 出席者の数・・・13人中10人(以下のとおり)

	氏名	選出団体等	備考	出席
1	青山 恵美子	恵那市民生委員児童委員協議会		出席
2	市川 祥子	恵那商工会議所		出席
3	岩井 慶次	恵那市防災研究会		出席
4	小澤 清子	公募		欠席
5	紀岡 伸征	恵那市社会福祉協議会		出席
6	芝田 幸代	恵那市恵南商工会		欠席
7	國枝 悟	恵那職業安定所		出席
8	伊藤 孝行	十六銀行恵那支店		出席
9	西尾 愛子	公募		出席
10	西尾 ひろみ	恵那市農業員会		欠席
11	服部 敦	中部大学	会長	出席
12	平林 道博	恵那市地域自治区会長会議	副会長	出席
13	村松 訓子	恵那市教育委員		出席

9. 傍聴・・・5人

1. 開会

■事務局（進行） 定刻となったので開会する。私は進行の企画課長の和田です。よろしくお願ひします。本日の会議はソーシャルディスタンスに配慮してこのように変則となったことをお許しください。欠席者は芝田委員、西尾委員、小澤委員。所用や体調不良のため。

本日の会議は原則公開で、会議録も公表する。事務局の説明は簡潔にし、委員からは多くの意見をいただきたいが、感染防止に配慮し、会議時間は1時間30分を予定する。

2. 自己紹介

■事務局（進行） 委員名簿を配布している。皆様には昨年8月から委員になっていただいている。年度が替わり、2名が職場の異動により替わっている。國枝委員と伊藤委員だ。改めて委員全員から自己紹介をお願いする。会議時間が限られているので簡潔にお願いしたい。

■青山委員 民生委員・児童委員協議会から参りました青山です。よろしくお願ひします。

■市川委員 恵那商工会議所から参りました市川です。よろしくお願ひします。

■岩井委員 恵那市防災研究会をやっている。よろしくお願ひします。

■紀岡委員 紀岡伸征です。恵那市社会福祉協議会から参りました。よろしくお願ひします。

■國枝委員 ハローワーク恵那の國枝です。4月からこちらに赴任している。雇用関係の問題は分かると思う。よろしくお願ひします。

■伊藤委員 十六銀行恵那支店の伊藤です。この7月から赴任している。よろしくお願ひします。

■西尾委員 西尾です。よろしくお願ひします。

■村松委員 教育委員の村松訓子です。教育委員は今年で2期目の4年目を迎える。本日もコロナの接種と重なっているため途中退席する。

■平林副会長 地域自治区会長会議から来た平林です。よろしくお願ひします。

■服部会長 中部大学の服部です。よろしくお願ひします。

■事務局（進行） 本日は市からは副市長、教育長、各担当部長が出席している。

3. 副市長あいさつ

■副市長 7月中旬からポーランドのカヌーチームがオリンピックの大会を目指して事前キャンプ地として笠置峡で練習して、非常にいい成績を修めた。それ以来、私もポーランドが気になるようになった。私は陸上競技が専門だったのでオリンピックを見ていたが、ポーランドは非常に強いのが印象的だった。こういうおかげでポーランドとの関係ができ

ていけばいいと思う。

コロナウイルスのワクチン接種について。高齢者の接種が 95%終わった。県下でも非常に高いパーセンテージだ。現在一般接種をしている。8 月末で 5 割程度の人に接種していただけたと思う。しかし、ここまで非常にうまく接種してきたが、ワクチンがなかなか入りづらく、9 月に入って、1 回の接種が 1100 人ぐらいだが、1 箱か 2 箱しか来なくなり、9 月から接種が遅れるのではないかと心配している。ワクチンが到達すればできるだけ早く接種していただけるように心がける。全世帯の 12 歳以上に全て接種券を渡している。土日の枠が空き次第通知するのでよろしくをお願いします。

今日は、施策評価は、終わった段階で、市長、副市長、教育長、部長以下みんなそれぞれの評価についてどうだったか点検している。今後に向けて今日の審議会で議論いただきたい。ただ、コロナウイルスの感染症によって審議会が開けなかった、講習会が開けなかったということで厳しい評価が出ているところもある。あるいは、救急現場で病院に入っていたく時間が遅くなったというのも評価に入っているのも、厳しい部分もあったが、真摯に受け止め、市民からの通信簿として検討していきたい。

■事務局（進行） これより議事に入る。進行を服部会長に願います。

4. 議事

(1) 総合計画の進行管理について

■会長 総合計画の評価が議事だ。事務局から説明を受けるが、総合計画という市の一番基本的な計画について全般的に進めておられ、その内容についてどこまで進んだかという評価をしている。その内容について、疑問点も含め、皆様から意見をいただく。

進め方としては、資料 1 に全部で 24 項目があり、多岐にわたるので、一番左の理念、3 つの項目、安心、快適、活力の 1 つずつで一旦説明を切り、その後質問、意見を頂く。なお市政の運営は活力と一緒に説明を行い、それぞれ 20～25 分で説明と意見交換をする。

まず「安心」から。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 質問、意見があれば。

■岩井委員 19 ページ、生命と財産を守る。交通安全という説明もあったが、千葉県事故もあり、それを受けて国も動こうとしているが、学校も地域も、放置していたわけではなく、行政に対しても要望しているはずだ。それは行政なり警察なりしているが、見える化になってない。どこが危ないかということが市民に見えないので、見える化をしてほしい。それについてはどうか。

■総務部長 千葉県の悲惨な事故を受けて、道路管理の建設部、私ども、また、教育委員会と打ち合わせし、見える化ということもあるし、どういった対策をうつかということ、

毎年交通安全対策はしているがまだ足りない部分があるのではないかとということで掘り起こし、9月補正で区画線等の補正や、もっと小さい子、こども園の子の安全を守るためのキッズゾーンを9月の補正予算に計上することも検討中だ。それぞれ常に検討して前向きに考えたい。

■岩井委員 付け加えると、安全点検されるのは大人でもいい。通学しているのは子どもたちなので視線はもっと低い。子どもたちの意見も吸い上げてほしい。子どもたちはかなりいろいろなことを見ている。車は停まらないということもよく知っている。ガードレールなら予算もそれほど要らないので取り組んでほしい。

■教育委員会 副教育長 子どもたちの意見を吸い上げるのは、当事者なのでとても大事だと思う。子どもたちが、例えば下校指導で教員がついていくときに危険箇所を一緒に確認しながら通学路を歩くなどの取組みを学校では行っている。そういったことを、子どもたち、職員、地域、保護者も含めて共有していくことが大事だと思っている。

■副会長 事務局から提案があった、新型コロナウイルスの影響がなかったらということを考えても、ほかの項目もたくさんあるんだし、意味がなくて、結論は、括弧内の評価をきちんと取る。KPIで目標指標を作っているわけだから、どんな状況でも、目標指標に合わせて達成できたかどうか、○か×かは決めにくいしABCDも決めにくい、あえて行政は指標を決めているのだから、どんな情勢でもそれに沿ってやるべきだ。手前みそで「なかったら○だ」と言っているのはおかしい。KPIの指標というのは、目に見えるものを通して目に見えないものに奥深く迫るということだと思う。その切り口が目標指数だ。「()」でAのところBがつけてあったりするようなことは何なのか。分かりにくい。コロナの影響は、評価の欄に文章で記入して、×けどよく検討した、などと補足すればよい。紀岡さんは二重評価と言われた。ダブルスタンダードだと思う。2も5も6も、AとDとAでいい。

■まちづくり企画部長 平林委員の御意見ももっともだと思う。ただ、総合計画は10カ年の施策、事業をどう展開したかというのを後から見る機会が出てくると思う。コロナのような予期しない事態が令和2年からあったということは、市の施策にどう影響があったかを、客観的に検証することも大事だ。厳然として数値が落ちた。その評価が基本ではあるが、10年を見たとき、このとき何があったのかというのを参考にすることも、説明責任として必要だ。手前みその評価をしているわけではない。過去4カ年の推移を見て、客観的に評価数値として上げる作業を事務局で行なった。

■会長 今の意見に関連して。私も違和感がある。今の説明だと、どちらが評価でどちらが参考なのか分からない。出てきている数値がちゃんとした評価だ。一方で、コロナという特異な状況で、もしそれがなかったらどうかというのを参考に示すことで、客観的な内容を示しておくことだと思う。どちらか分からないというのがダブルスタンダードだから良くない。数値があくまでも評価結果で、もう一つは参考とするというのがはっきりしていれば基本的にはいい。その上で、補正というのがどこまで科学的な根拠があるか。多分、特異値が出ている。特異値というのは、これまでに比べて上がりすぎ、下がりすぎ

というもので、それが気になって改めて検討しているのだと思う。特異値が出た場合の補正の方法は科学的なものがある。トレンド値を示してそこと比較しているというのがあれば、科学的になる。その科学的な根拠をはっきりさせておくのが重要だ。

その中で、悪くなっているのがある。良くなっているのを下げているというのはちょっと不思議だ。2 と 6 は良くなっているのをわざわざ下げている。「これは本当かな」というのはちょっとある。「働く環境に不安を感じてない」。良い方に出ているのに下げている。普通はコロナで働く環境に不安を感じるようになるのが当たり前。それが、在宅が進んだから感じてないという説明は厳しい。コロナで社会不安が増じて治安が悪くなっているとよく言われるがそれが良くなっているという説明が果たして通るのか。よく検討いただきたい。意見だ。

■國枝委員 2 の安心して働けるというところで、新規学校卒業者の市内企業への就職という部分。私どものデータでも、管内就職者数は過去5年間で平成29年から令和2年の中で一番良かった。管内の求人への充足率も令和2年度は特に良かった。市内企業の魅力をPRしていく部分で、今までやられてきた内容や今後考えていることがあれば。

■商工観光部長 市内企業のPRは集団での就職説明会を例年行なっている。昨年度はコロナで、恵那・中津川で合同でやる大規模なものを予定していたが、オンラインで、そういった機会を多く行い、学生に地域企業を知っていただいた。今年度も同じように企業説明会を考えている。形を変えてPRしたい。

■國枝委員 うちも協力したい。市内企業への就職は我々も考えている。

■村松委員 3 ページ、安心して暮らす。市立恵那病院の産婦人科で不妊治療を行っていると書いてある。私の回りの娘世代、出産したいけど産婦人科が恵那にはなくて、子どもを授かっても里帰りも恵那ではできない。コロナだから特にだが、不妊治療もだし、恵那で出来ることを周知されてないと、少子化に拍車をかけるので、産婦人科はとても大事だと思うので、市民病院の産婦人科にかなり有能な先生がみえるということも知っているが、どのようにしているか。

■医療福祉部長 訂正をする。①にあるのは恵那病院で行なっているものではない。不妊治療はやっていない。他市、春日井や名古屋に行っている人が多いようだ。現在、恵那病院の産婦人科では、年間250人ぐらい出生する。恵那病院が新築した平成28年10月に恵那市の目玉として産婦人科を同時に開設した。その4割が恵那市の出生で、3割が里帰り出産。実家が恵那にある人が出産する。中津川も3割弱。残りは瑞浪、多治見。不妊治療は、岐阜県も最近すごく力を入れている。菅総理が保険適用にするという発言があり、今は不妊治療は所得制限があるが、それも撤廃されている。県ではそういう制度をやっているの、市でもプラスアルファでできるところがないか検討している。

■会長 「快適」について事務局から説明を御願います。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 質問、意見はあるか。

■岩井委員 29 ページ。「リニア開通」「工業団地」の文言がある。工業団地を誘致するだけでは恵那市としては魅力あるまちにはなっていないと思う。首都機能移転の話が昔あった。首都直下型地震、南海トラフ地震等も心配されるため、今余裕のある企業は内陸部に本社機能を移している。リニアが開通すれば東京からのアクセスがよくなるので、工業から頭脳、IQ という部分を誘致してほしい。この辺の見直しをお願いしたい。

■商工観光部長 企業誘致は、リニアが大きな起爆剤で、企業誘致でも大きな要因になると考えている。恵那市では恵那西工業団地を整備している。来年度ぐらいには公募を進めるように企業誘致を進めている。従来型工場だけではなく、本社機能をこちらに誘致するよう取り組んでいる。本社機能の移転はなかなか難しいところもあるので、地道な活動になるが、目指して取り組んでいる。

■副会長 8 と 12 は 3 年間 B、D、D。今後の方向性は、指標を変えて進行管理をすると事務局は言っているが、今までの指標は何だったのか。今後の方向性は、一律で「後期計画では」として目標を変えているが、今までの B、D、D がついたものの目標はどうなったのか。過去を総括していないのではないか。今後の方向性は、5 年間の取組みをどう見るかということが重点であり、後期計画に心が移っていて前期計画を総括したことが書いていない。2 ページを見てほしい。B なら事業内容の改善を行う、C なら、こういう事業内容について見直しをする、D なら事業について廃止、見直し、または新規事業を検討する、と。こういう事業の改善等について書かなくて、計画だけ書いても、当たり前なのが書いてあると思うだけだ。今回はとても残念に思った。前期計画のまとめの年なので。それがあってから後期計画が出てこないといけない。後期計画に心が行ってしまって、今までのことはなしにしようという感じがする。

■会長 総括的な意見だ。

■まちづくり企画部長 今回は前期 5 カ年の評価をメインで行なっている。私が直接所管している 30 ページ、移動手段を充実する、のところで平林委員の指摘があった。確かに 5 カ年で達成できなかった。総合計画は 10 カ年で、10 カ年を進行管理していく。施策としてはそこに基本を置きつつ、そのときどきの世の中の流れ、法律改正、住民ニーズに柔軟に対応しないとイケない。移動手段については、昨年法律改正がされ、地区内有償運送がこれか地域内交通のメインだったが、さまざまな交通手段を地域の実情に合わせてこれから考えるべきだということになり、それを含めて今後の方向性の中でこういう表現をした。

前期をしっかり反省した上で後期につないでいきたい。

■会長 次からは後期の評価に入るが、D がついた項目はどう総括して次に入るのかは整理した方がいい。

■青山委員 30 ページ、里山バス、くしバスという名前がついているが、右側の下の今後の方向性のところで、「持続可能な交通ネットワークの実現に向けて、地域と共に検討す

る」とあるが、何か新しい計画や企画があるのか。私が民生委員として見守りしているお年寄りには順に年を取り、免許も返上するとどこにも行けなくなる。200m先にも行けない。ごみ出しも大変だ。検討するというのはどういうことか。

■まちづくり企画部長 地域内有償運送というのは、地域内にタクシー、バスなど公共交通が存在しない地域に限定して、それに代わる交通手段を設けて輸送サービスを行うもの。串原、飯地では、ワゴン車を1台購入して地域の方々の輸送を行なっている。今回この元となる法律、地域公共交通活性化再生法が改正され、公共交通計画を各自治体で作らなさいというのが努力義務とされている。当市はその計画を持っているが、今後は、地域のあらゆる手段を総動員して地域の実情に応じた交通体系を作り上げるようにということが法律の趣旨で、現在、交通計画の見直しを各地域で、私どもの担当が入って、どんな輸送サービスが行われているのか、有償運送や地域のボランティアが自家用車でお年寄りの送迎を行なっているところがあるので、そういうサービスを広めてより多くの方に利用していただけるように、地域内でも頑張ってください、明知鉄道やバスなどの基幹交通と連携して地域と基幹交通を結びながら、どういうサービスが提供できるのか提供している。

市内中心部は、恵那駅中心に放射状にバス路線が走っているが、環状的な路線が現在ないので、そういったのを設けて市内を循環させて通院、買い物に利用する方策はないか、検討している。今年秋までには13地区の検討会を経て、新しい方向を導き出していきたい。

■会長 「活力」「市政の運営」について。

■事務局（進行） 市川委員、村松委員はここで退席する。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 質問、意見があれば。

■紀岡委員 42 ページ、まちの担い手になる②まちづくり活動やボランティア活動のところ。評価指標にも大学生がまちづくり活動にかかわった回数がある。社会福祉協議会では福祉関係のボランティアを、中高生を中心にやっている。市内に大学がないので大学生へのアプローチをどうしたものか考えている。この評価指標に対して施策を考えていけば教えてほしい。

■まちづくり企画部長 当市もいくつかの大学と連携協定を結んでいる。まちづくりをどう考えているか、まちづくりに学生が来て地域の活動に来ていただくというのが主だ。これからそれを広げて、福祉分野、災害などに広げていきたいので、指標としてある。これについては具体的に取組みが現れた段階で社会福祉協議会と連携したい。

■青山委員 民生児童委員として。35 ページ、デジタル機器を3月ぐらいまでに全員配布だと前回言われていたので全員に配布されていると思うが、本当に使われているか、Wi-Fi環境があるか。ない子にはどういう対応をしているか。

■教育委員会 副会長 昨年度1人1台タブレットを小中学校全員に配布した。今年度も

タブレットを活用しながら、また家に持ち帰っての学習に活用している。Wi-Fi 環境は、昨年度 250 を超える家庭がなかったが、こちらからルーターを一時的に貸し出したり、家庭で Wi-Fi 環境設置に必要な補助を市が行うことで、4 月には 70 軒未設置のところが減っている。現在 30、40 軒に減っている。今後も家庭に必要な施策を打っていきたい。

■青山委員 その子たちはどういう勉強をしているのか。夏休みもタブレットを持って帰っているが。

■教育委員会 副教育長 市から Wi-Fi ルーターを貸し出してネットがつながるように。

■青山委員 全員学習できる環境になっているのか。

■教育委員会 副教育長 全員ではない。

■青山委員 ない子はどうしているのか。

■教育委員会 副教育長 個別対応をしている。家で使えない子には、学習に必要なものを配布したり、家の考えでタブレットは使わせたくないというところもあるので、その子にも個別で対応している。

■副会長 35 ページ。学ぶ力をつけるという大事な目標のもとに、学校教育や読書などをきっかけにして学ぶ習慣を付け、生涯を通して学び続ける人を育成するという方向だが、状況調査を実施していなくて達成状況が「－」になっていて、評価が不満となっている。それなのに（○）となっている根拠は何か。

2 つ目は、評価の内容のところ、全国学力学習状況調査が全国的に実施されなかったということだが、教育委員会にとって目標指標は総合計画の中に位置付くとても大事な指標なので、市でやればよいと思う。全国調査がなかったので分かりませんでは、市として主体性がない。全部の学校でなくても、抽出して、去年一番平均的な学校についてやるとか。令和 2 年度はコロナの影響で休校が 3 カ月も続いたり、部活動や子供会活動などで、思わぬ出来事があった。そういうときこそ学習状況や生活状況調査をするのが行政の仕事だと思う。

■教育長 厳しい意見だ。おっしゃる通りだ。全国学調に指標を合わせて、結果はその通りだが、当市では各種の調査は一律に各学校に予算を取って実施しており、この取りまとめをここに表してない。学力の状況は把握している。結果は、コロナの影響は確かにあり、学力は二極化している。これを今年度までこ入れして底上げを図ろうとしている。

■岩井委員 35 ページ。指標に、学習している市民で 3 つの項目がある。この×は、目標とする方向性で、生涯を通じて学び続ける人を育成するという項目があるが、生涯教育と学校教育は、今の恵那市では分断していると思う。生涯教育は生まれてから死ぬまでが生涯教育だと僕は思う。ぜひ有効に活用してほしい。

今、ある学校では災害をテーマにして、子どもたちが地域で学んだことを家で話したり地域で集会をもって自分たちの地域の災害について話し合う場をもっている。タブレットが配られたことでそれが実現できている。その点ではすばらしいものが入ったので、講座や福祉にも活用していただき、生涯学び続ける仕組みをお願いしたい。学校教育だけが生涯教育ではないと思う。統合的に進めてほしい。

■会長 要望、要請だと思う。

■教育長 恵那市の小中学校は原則すべての学校でこの夏休みはタブレットを持ち帰らせている。学校によって若干状況が違うので、校長の裁量で、低学年は期間を限定して試行的に取り組んでいるところもあるが、およそほぼ全日持ち帰っている。併せて、小学校はネットにつながる時間帯を正午まで、中学生は午後 10 時までとし、真夜中に使わないように設定して、共通に導入しているアプリ、ツールを活用して 5 教科を学習し、ネットにつなげて夏休みの研究に取り組めるように設定している。夏休みが明けてどれぐらいの成果が出るか、初めてのことなので、確認したい。

■会長 3つの項目が終わった。全体にわたって何かないか。

■岩井委員 21 ページ。評価の内容で、地域の人も頑張っている避難情報を見て来るようになったと書いてある。これは避難所の立ち上げの部分だ。実際はステージが変わっており、今はもう「運営」に変えていなければならない。10 年間のスパンでの検証がされているが、ステージに合った検証を進めてほしい。「運営」にしてほしい。

■総務部長 おっしゃる通りだ。その場に合った運営をする。今ならコロナウイルス感染症対策を講じて避難所を運営するということだ。その場に応じて運営していく。またそういうアドバイスをいただきたい。

■会長 時間なので終了する。事務局に返す。

■事務局 全体の評価で貴重な意見をありがとうございました。全体の評価は、括弧ではないところが通常の評価で、「()内は参考値」と明記するようにする。また、コロナの数字を一次関数か何かでトレンドを回帰して、その数値も評価に載せる。

今後の方向性は、D の評価になったものは、後期計画の評価のところできっちり検証して、どうするか明記する。

5. その他

■事務局（進行） 次回は令和 4 年 3 月頃の開催とする。なお、9 月 25 日の映画のチラシを机上に配布した。今年度 WRC、世界ラリー選手権が 11 月に本開催される。恵那市にもコースの一部が入っている。その PR の映画を作成した。10 月 1 日ロードショーに先駆けて恵那市での上映になる。職場や地域の方に宣伝してほしい。

■副市長 コロナワクチンについて。8 月 14 日、多治見会場でファイザーの集団接種をする枠が 270 ぐらい空いている。12 歳以上なら誰でもできる。恵那市内のワクチン接種ではワクチンの量が限られているので、早く打ちたければ多治見でできる。市のホームページで予約を取った後に行ってほしい。

6. 閉会

■事務局（進行） 副会長から閉会のあいさつ。

■副会長 熱心な御意見をありがとうございました。副市長から、市民からの通信簿という話があった。市民が参加して行政評価をするという大事な会が充実したものになったので喜んでいる。私も言いたいことを言った。できる限り評価は厳しく、指導は優しく、と思っている。建設的に批判し合うことが互いの活力になる。総じて、令和 2 年度はコロナ禍で行政も集会やイベントが制約される中で苦労が多かったと思う。その中で知恵を出し今日のような評価を出してくださったことに感謝申し上げる。

今日の意見を取り入れていただき、ホームページに掲載されるので、見ていただきたい。楽しみに待ちたい。

委員には、総合計画の評価がこれで終了となったので、来年度の評価は新しい委員のもとで行われるが、こういう機会を得たので、第 2 次総合計画の指標についても目を通して、自分の身の回りの中でどう行政が動いているか関心をもって見ていきたいと思う。

お疲れさまでした。

[閉 会]

※会議での委員からの指摘を受けて、目標指標の結果欄に H28～R1 のデータを一次関数で回帰した値を記載しました。併せて新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない場合に想定される参考値を評価の（ ）に記載しました。